

# JPDA 9月定例理事会議事録

日 時：令和2年9月9日（水）午後1時30分～午後5時15分

場 所：オンライン（Zoom）

出席者：理事24名中21名（伊藤 透、井上 聡、加藤芳夫、青木（入江）あずさ、石浦弘幸、伊藤雅文、牛島志津子、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、小原 司、竹内清高、中越 出、永田麻美、中森恭平、信藤洋二、松尾政明、三原美奈子、森 孝幹）

監事2名中2名（時田秀久、藤田 隆）

欠席届（畝野裕司、高田知之、山崎 茂）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡  
時田秀久、藤田 隆

## 議事の経過

定款第31条（議長）により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者23名を確認、定款第32条（決議）による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、時田秀久監事、藤田隆監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

## ※ゴシックは承認事項

### 第1号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届けを提出した下記の法人会員1社の休会を承認した。

（1）法人会員（1社）

<西日本>

1. 有限会社 ほにや【令和2年8月～令和4年7月まで】

（コロナ禍で活動休止中の為、活動再開までの間、休会としたい）

### 第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した下記の法人会員5社、個人会員3人の退会を承認した。

（1）法人会員（5社）

<東日本>

1. 株式会社シンギ【令和2年7月末退会希望】  
(諸般の事情により)
2. 株式会社Tottemo Designing【令和2年7月末退会希望】  
(業態変化に伴う方向性のため)
3. 株式会社 村田金箔【令和2年9月末退会希望】  
(経費節減と販売強化に人員を集中投下する方針のため)

<西日本>

4. 株式会社 丸信【令和2年7月末退会希望】  
(会員としての有利性が見出せなかったため)
5. 柳井紙工株式会社【令和2年8月末退会希望】  
(諸般の事情により)

(2) 個人会員 (3名)

<東日本>

1. 林 修子 (はやし しゅうこ)【令和2年7月末退会希望】  
(家族の高齢化、体調不良のため)

<西日本>

2. 田淵 拓美 (たぶち たくみ)【令和2年7月末退会希望】  
(退職のため)
3. 長谷川 幸司 (はせがわ こうじ)【令和2年6月末退会希望】  
(一身上の都合のため)

渡邊事務局長より、参考資料を基に、今年度(4月～9月)の理事会承認の「入会者数－退会者数」は－18となっており、昨年度(+3)と比較して、退会者数が大きく増えていることから、会費収入の減少が懸念されるという発言があった。

**第3号議案 協会名義使用承認の件** (8/19時点では共催、協賛が各1件)

本日の理事会までに下記4件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 共催名義使用の依頼 (2件)

1. 「富山デザインフェア 2020」

【2020年10月9日(金)～11日(日) 富山市民プラザ】

主催：富山市 (運営：富山デザインフェア実行委員会)

※合わせて同時期に開催される「日本パッケージデザイン展2020とやま」パッケージデザインコンペティションへの審査員派遣 (中日本担当理事 畝野氏) と「JPDA賞」の授与、及び、「公益社団法人日本パッケージデザイン協会北陸

地区会員展」へ作品借用の依頼があった。

## 2. 「現代日本のパッケージ 2020」

【2020年10月10日(土)～12月6日(日) 印刷博物館P&Pギャラリー】

主催：凸版印刷株式会社 印刷博物館

共催：一般社団法人日本印刷産業連合会、公益社団法人日本包装技術協会  
公益社団法人日本パッケージデザイン協会

### (2) 協賛名義の使用依頼 (2件)

#### 1. 『オリジナル商品開発WEEK』(P. 25～29)

構成展示会：第13回 国際OEM・PB開発展

：第3回 地域産品展

：第3回 パッケージ×デザイン展

【2021年2月16日(火)～19日(金) 東京ビッグサイト】

主催：一般社団法人日本能率協会

※合わせてビジネスステージの講演者委嘱協力のお願があった。

#### 2. 「第31回 西日本食品産業創造展 '21」

【2021年5月19日(水)～21日(金) マリンメッセ福岡A館】

主催：日刊工業新聞社 共催：第31回西日本食品産業創造展'21 開催委員会

※7月の理事会で後援名義の使用が承認された「第14回メディアユニバーサルコン  
ペティション」の開催要項について説明があった。

## 第4号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- 伊藤理事長報告
- ・7/17 60周年企画展打合せ
  - ・7/21 REMO体験会(OL: Zoom)
  - ・7/22 「ひろめる価値ユニット」 広報誌協賛広告打合せ  
(OL: Zoom)
  - ・7/30 D-8代表者会議 (OL: Zoom)
  - ・8/20 オンラインセミナー情報交換会 (OL: Zoom)
  - ・8/25 60周年企画展打合せ
  - ・8/27 JPDA大賞二次審査会 (OL: Zoom)
  - ・8/28 会員アンケートについての打合せ (OL: Zoom)
  - ・9/1 ジャパン・ハウス サンパウロでのJPDA大賞展開催打合せ
  - ・9/3 「まなび交流ユニット」2回目打合せ (OL: Zoom)

- ・ 9/4 サンパウロでのJPDA大賞展開催 JPDA内の打合せ
- ・ 9/9 定例理事会 (OL : Zoom)
- 井上副理事長報告
- ・ 7/21 REMO体験会 (OL : Zoom)
- ・ 7/22 「ひろめる価値ユニット」 広報誌協賛広告打合せ (OL : Zoom)
- ・ 8/20 オンラインセミナー情報交換会 (OL : Zoom)
- ・ 8/28 会員アンケートについての打合せ (OL : Zoom)
- ・ 9/3 「まなび交流ユニット」 2回目打合せ (OL : Zoom)
- ・ 9/9 定例理事会 (OL : Zoom)
- 加藤専務理事
- ・ 7/16 出版委員会 (OL : Zoom)
- ・ 7/17 60周年企画展打合せ (アンダーグラフィック+Zoom)
- ・ 8/5 60周年企画展打合せ ( // )
- ・ 8/25 60周年企画展打合せ ( // )
- ・ 8/27 JPDA大賞二次審査会 (OL : Zoom)
- ・ 8/28 会員アンケートについての打合せ (OL : Zoom)
- パッケージデザインの学校打合せ (OL : Zoom)
- ・ 9/3 「まなび交流ユニット」 2回目打合せ (OL : Zoom)
- ・ 9/4 サンパウロでのJPDA大賞展開催 JPDA内の打合せ
- ・ 9/9 定例理事会 (OL : Zoom)

#### 第5号議案 新ユニットについての報告

##### ● 「ひろめる価値ユニット」

井上副理事長より、資料に基づき、7/22のキックオフミーティングについての報告があった。

<以下井上副理事長のコメント>

- ・ 各委員会の今年度、来年度の活動計画の共有化と委員会毎の課題について話し合ったあと、これからの「広める価値ユニット」としての活動について議論した。
- ・ 個別テーマとしては「環境問題」をテーマとしたパッケージデザイン展についての議論があったが、2年前から研究テーマにあげている調査研究委員会の活動も視野に入れ、参加費用をどうするかを含めてこれからも検討を続けていきたい。
- ・ 今後の取り組みとしては、各事業の棚卸しを行い、重複を廃して不足している点を補うことにより事業の枠組みを再構築し、その枠組みにコンテンツを走らせるようにしていきたいと考えている。
- ・ まだユニットとしての顔合わせが終わっていない「研究・コンペユニット」についても近々キックオフミーティングを行いたいと考えている。

<出席者からの意見（敬称略）>

- ・井上さんが提案した3つのユニット打合せはいままで以上に深い議論ができていると思う。2ヶ月に一度の理事会ではなかなか突っ込んだ議論ができなかったが、各委員会間の情報交換を含め、価値のあるミーティングだったと考えている。（伊藤(透)）
- ・今回このような打合せが実現できたのは、やはりオンライン会議だったことが大きいと思う。これからもこのやり方を活用していきたい。（加藤）

● 「まなび交流ユニット」

森理事、三原理事より、資料に基づき、9/3の2回目ミーティングの議題であった「学生対象の活動」についての提案があった。

- ・森理事から全体の説明があった後、三原理事から、前回の理事会での議論を受けて9/3の「まなび交流ユニット」で話し合った結果が以下に提案された。
- ・JPDAから発信、交流の機会を与え、学生、若手はクリエイティブな学びができるという相乗効果で、パッケージデザイン業界全体のレベルアップを図りたいと考えた。
- ・その人材育成の方法として、

- ① 学生・新人（社会人2～3年目まで）対象の創作コンペを開催する
- ② ジュニア会員を創設する
- ③ 学生向けのオンラインワークショップを開催する

という3つの案を考えたが、今日の理事会でいろいろなご意見をいただきたい。

<出席者の意見・コメント（敬称略）>

- ・昨年まで、日本でのアスパックはコンペ、アスパックウィークでの国際交流、展覧会、ワークショップ等いろいろな事業の集合体だった。しかし、今年は全てなくなってしまったので、少なくとも学生・学校とのつながりを継続したいというのがモチベーションになっているのか？（伊藤(透)）

⇒若い世代との交流を続けられなくなるという危機感が大きい。（三原）

- ・JAGDAには学生にアドバイスするイベントがあり、DSA（空間）にはユース会員というステータスがある。他の協会の情報を広く集めた方がよいと思う。（信藤）
- ・JIDAには学生会員制度があったが、ほとんど機能していなかった。学生から会員に引き上げるのは非常に大変で、魅力的な仕掛けがない限り、学生を会員に引き上げるのは難しいと思う。（入江）
- ・以前JPDAも会費の安い学生会員、シニア会員を検討したが、当時の所管省庁より、公平性の観点から会員の処遇に差をつけるのは好ましくないとの指摘があり、断念した経緯がある。

会員を増やすことではないが裾野を広げるための施策もある。以前、港区役所で親子を対象としたギフトパッケージ作りの講座が開設され、JPDAの会員が講師を務め

た事例もある。また、JID（インテリア協会）にも、児童を対象とした、インテリアに興味を持たせるためのボランティア的な活動があったと記憶している。（時田）

- ・シニア会員、若手会員についてはまとまったところで内閣府に確認をとった方がよいと思う。（加藤）
- ・D-8の各協会に、学生会員の有無、どういう活動をしているか等について聞き込みをして、次回の理事会までにまとめて報告したい。（渡邊）
- ・学生会員を作ることと学生に対するアプローチは別に考えた方がよいと思う。（伊藤(透)、加藤）
- ・以前、アスパックがなくなるかもしれないということから、JPDA大賞に学生部門を作ってはどうかという議論があり、コンペ委員会内で検討したが、今ある13カテゴリーに加えた14番目のカテゴリーにするのは無理あるし、運営の仕方や審査基準が異なることからお断りした経緯がある。（小原）
- ・前回のユニット会議で学生賞については熱い議論があった。単にコンペ委員会に丸投げするのではなく、もう一度、協会内で一から検討してはいかがか。（永田、加藤）
- ・学生賞ができた場合、年鑑にも掲載されるのか？（小川(裕)）
- ・そうなると思う。（加藤）
- ・チーム名が国際交流というのは違和感を感じるので再検討をお願いしたい。また、何をやりたいのかを明快にしてから議論したほうがよいと思う。（伊藤(透)）

## 第6号議案 委員会報告

### <承認事項>

#### ● 西日本

- ・三原理事より、7/10の西日本勉強会「こえるvol.1: Adobe CC 勉強会」（活動内容は7月理事会で報告済）について以下の収支報告があり承認された。

なお、今回はオンラインだったため、交流会は開催しなかった。

（公益会計）収入：0円、支出：36,984円、協会補助：62,500円、収支差額：+25,516円

### <報告事項>（●は資料あり ○は口頭での報告）

#### ● コンペティション

- ・小原理事より、資料に基づき、「日本パッケージデザイン大賞2021」について、以下の報告があった。
  - ・二次審査は8/27に無事終了したが、初めてのリモート（画像）審査であり、終了まで11時間の長丁場だった。二次審査員の方々のご協力に感謝したい。
- 審査は、審査員からの得票の上位5作品と、上位には入らなかったが、狙上に載せた

い何点かの作品を加えて全審査員で議論し、カテゴリー毎に金・銀・銅賞（全42作品）を決めていった。

最後に金賞の中から大賞1作品を選出した。今回は「サントリー緑茶 伊右衛門600ml ペットラベルレス」が大賞を受賞した。

入賞作品は、本日JPDAサイトで全作品を公表したが（画像付）、これまで受賞者の方に贈賞式に出席していただきたいために当日まで伏せていた大賞の発表についても、今回は2021年に予定している贈賞式がリアルで開催できるかがわからないので、金・銀・銅賞と合わせて公表することとした。

- ・次に、いままで何種類かの大賞のロゴマークがあったが、今後のことを考えて1つに統一した。昨年同様、入賞・入選者から、PR用にロゴマークを使いたいという声があり、近々使用する際のガイドラインをつけて、該当者に送る予定である。

⇒加藤専務理事から、使用者が使い安いように何パターンかを用意してほしいという指摘があった。（小原理事からは、これから検討したいとの回答あり。）

- ・今後のスケジュールとしては、二次審査員全員に今回初めてだった画像審査についてのアンケートをとる予定。

また、贈賞式は2021/2/1（金）に東京ガーデンパレスを押さえたが、状況を見て実施できるかどうかを決めたいと考えている。

## ● 出版

- ・加藤専務理事より、資料に基づき、2020/10/10（土）～12/6（日）、印刷博物館P&Pギャラリーで開催される「現代日本のパッケージ展」について以下の報告があった。
- ・出版委員会では、山崎理事を中心に、今年5月に発刊した60周年記念『PACKAGE DESIGN INDEX “OurBest Works”』からピックアップした作品を展示する検討をしてきたが、ロングセラーのものが多かったため、「特集：ロングセラーのパッケージデザイン」としてJPDAならではの展示を行う方向で検討を続けている。
- ・期間中のトークイベントは「ロングセラーのパッケージデザイン」をテーマに、加藤専務理事、小川（亮）理事、山崎理事、松田澄子氏が登壇する予定で、印刷博物館サイドとしては、今回は参加者が集まって講演会を聞く形ではなく、いない場所で撮影をしたものを同時配信する形のトークショーにしたいと考えている

## ● 教育

- ・永田理事より、資料に基づき、年内の開催を検討しているオンラインセミナーについての報告があった。
- ・講師は新潟の石川竜太氏と名古屋の平井秀和氏、進行役を加藤専務理事にお願いすることが決まった。また、今回は中日本委員会（愛知・岐阜）・（北陸）と一緒に開催準備を進めていくことになっている。

- ・タイトルはまだ仮のもので、明日教育委員会でタイトル・内容の検討を行い、9/15に講師2名を加えた打合せを持つ予定だが、開催時期は今年の11月～12月で、休憩を入れて90分程度、参加者は100名、参加費は無料（今年のみ）になると思われる。

#### ● 中日本（愛知・岐阜）

- ・伊藤(雅)理事より、資料に基づき、今年度の活動についての報告があった。
- ・当初はJPDA大賞アーカイブ展、また、中日本エリアでのデザインコンペという案もあったが、8/20に中日本の委員とMTGをもち、「日本パッケージデザイン大賞2021 巡回展」を開催することに決まった。

開催日程は2021/3/9(火)～16(火)（仮）、開催場所は国際デザインセンターギャラリー(名古屋)、まだいずれも案だが、期間中にセミナーの開催も検討していきたい。

- ・展示作品については、2021/2/24(水)～26(金)に開催されるTOKYO PACKでの巡回展で展示されたものを使うとともに、パネル・バナー等の会場装飾物や作品のキャプションも活用できればと考えている。
- ・これから中日本委員会で検討を進め、スケジュール、予算等について次回の理事会で報告したい。

⇒加藤専務理事より、「名古屋で大賞巡回展を開催するのは賛成だが、入賞作品だけではなく、会場の一角に名古屋の会員の作品を展示するコーナーを設けてはいかがか。名古屋の会員のモチベーションが上がるのではないだろうか。」というサジェスションがあった。

⇒小川(亮)理事からは「必要であれば喜んで協力させていただきたい。」とのコメントがあった。

#### ● デザイン保護

- ・急遽欠席となった高田理事に代わり、渡邊事務局長より、資料に基づき、協会サイトでの委員会レポートページ、7～8月に開催したデザイン保護委員会の内容について報告があった。
- ・今年度は11月に委員会内の勉強会を開催し、2021年2～3月に知財セミナーの開催を検討していきたいと考えている。

#### ● インターネット

- ・中越理事より、資料に基づき、本日公開した「日本パッケージデザイン大賞2021」の速報について報告があった。

#### ● 国内交流

- ・桑理事より、資料に基づき、今年度開催予定のオンライン交流会についての報告があった。
- ・イベントタイトルは「みんなでつながろう！デザインの輪！！」とし、コロナ禍の中、全



国の会員が気軽に楽しく参加でき、オンラインならではの交流ができるものとしていきたい。

- ・企画概要はオンラインによる「事務所・仕事場訪問（個人・法人）」で、テーマはコロナ禍による変化（ビフォー・アフター）とし、現状を気軽に話していただくことにより、参加者の本音トークを引き出したいと考えている。
- ・訪問先候補は、GK京都、ブラビス、レンゴ。すでに先方の承諾はいただいている。2021年度中に3回の開催を目標とし、少人数の交流会形式としたいため、参加人数はMAX30名、会費は無料で、メルマガやFBでアナウンスしていく予定だが、他の委員会のイベントスケジュールを考慮しつつ、1回目は10月末を考えたい。

<出席者の意見（敬称略）>

- ・実際どのような事業所訪問を考えているのか？訪問先候補は法人ばかりで、見せられないところが多々あり難しいのでは……。 (加藤)  
⇒訪問事業所訪問といっても、オンライン形式で動画は難しく、おそらくインタビュー形式になると思うが、普段は見るできない法人のファサードだけでも垣間見ることができれば参加者も喜ぶと思う。
- ・なんらかのリアル感があるとよいと思うが……。 (永田)

#### ● 広報

- ・加藤専務理事より、資料に基づき、2021年3月発刊予定の広報誌『JPDA MAGAZINE Vol. 6』の考え方について報告があった。
- ・次回の広報誌は、『PACKAGE DESIGN MAGAZINE SIMPOSIUM』をテーマとし、全国のいろいろな方が一つの問題について異なる角度から意見を延べ合い、質疑応答を繰り返す形のものを考えたい。例えば、地方の教育者・研究者、あるいは地域のデザイナーに自由に表現してもらえば面白いと思う。  
二つのカテゴリーで頭に浮かぶ方達を列挙したが、他にもご推薦の方をご存じであれば教えていただきたい。とくに取材はせずに、最終的に30名程度を選んでページ構成を考えていきたい。
- ・前号はとくにフォーマットを指定せず、それぞれの理事の個性が出るようにしたが、これについて意見があれば伺いたい。  
⇒前号はあれでよかったと思うが……。 (伊藤(透))  
⇒今回の広報誌も大変よかったが、次回も大変面白い企画だと思う。今から楽しみにしている。 (小川(裕))

#### ○ 調査研究

- ・桑理事より、口頭で、9/2のリモートMTGについて報告があった。
- ・2013年依頼実施していなかった大阪・福岡・岡山・愛媛・釧路・高知・東京の調査研

究委員による委員会があった。中越理事から委員会の近況報告があった後、出席者からそれぞれ3分程度の近況報告があり、楽しい意見交換ができたと思っている。

これからも地方のデザインや各地の地域活性デザイン等の事例収集していきたいと考えているが、単にパッケージデザインのこだわることなく、ブランディングなど、総合的なデザイン・企画をテーマにしていきたい。

- ・今回の委員会に参加した梅原理事からは「Zoomをうまく利用すればいろいろなことができると思う。」という補足があった。
  - ・加藤専務理事より、「大変面白い企画であり、事業所訪問ではなく、この内容を国内交流のイベントにしてはどうか。」という意見があった。(永田理事も同意見)
  - ・渡邊事務局長からは、「口頭報告ではなく、報告資料の作成をお願いしたい。」との依頼があった。
- ⇒桑理事、中越理事も了解した。

#### ● アーカイブ

- ・入江理事より、資料に基づき、8/6、9/7に開催した委員会での内容についての報告があった。
  - ・第4回の声のアーカイブは佐藤昭夫氏で決定。9/8にインタビューを行った。10月にJPDAサイトの会員専用ページで公開の予定。第5回は河北秀也氏を候補に交渉を進めている。
  - ・第3回のセミナーは2021年2月中旬に「デザインミュージアムを考える」(仮称)をタイトルに、24名の理事全員に3分程度ラウンド形式で語っていただくZoomセミナーの開催を考えている。(参加料は無料)
- その後で、パッケージデザイン資料館(案)と長野県長野市にあるJIDAデザインミュージアムについての紹介があった。
- ・伊藤理事長から、「パッケージデザイン資料館を考えるのか、D-8のデザインミュージアムを考えるのか、テーマを明確にしていきたい。」という指摘があった。
  - ・井上副理事長からは、「夢物語ではなく、パッケージデザインの資料館について考えるようにしてほしい。」とのコメントがあった。

#### ● パッケージデザインの学校

- ・小川(亮)理事より、2021年に延期された「パッケージデザインの学校」のプレセミナー「パッケージデザイン いい発注とダメな発注」について、資料と動画により、その内容と開催日(10月30日(金))の報告があった。

講師はパッケージデザインの学校の委員メンバーから数名を選出し、当日は名前・顔を伏せてお話しいただくように考えている。

オンラインでの開催で、参加費は無料、インターネットとメルマガでの告知を予定して

いる。

## ● 展覧会（創作展）

- ・小川(裕)理事より、資料に基づき、2021年に延期された60周年記念事業 創作展「みらいパッケージ展」の東京開催について、会場となる渋谷ヒカリエ 8階 8/CUBEを9月17日(金)～29日(水)の間、正式に申し込んだとの報告があった。関西についてはまだ決まっていないが、近々、東西合同の展覧会委員会を開いて議論するとのこと。

## 第7号議案 2020年度の実績見込み作成のお願い（事務局）

渡邊事務局長より、「新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの委員会が当初の事業計画の見直しを余儀なくされている2020年度について、委員会毎に現時点での収支見込みを10月9日(金)までに事務局に提出いただきたい」旨の依頼があった。

## 第8号議案 事務局報告（P. 58～70）

渡邊事務局長より以下の事務局報告があった。

### 1. 会員情報について

2019年4月より会費が未納となっていた東日本個人会員の今津顕光（あきひこ）氏は連絡が取れないため退会とした。

### 2. 今後の広報誌と会員名簿について

広報誌『JPDA MAGAZINE』は協会内外への活動報告媒体として重要な役割を担っているため、今後も年2回の発刊を継続するが、会員名簿については2021年1月より、印刷本形式からJPDAサイトの会員専用ページでの閲覧形式(デジタル会員名簿)に変更したい。(出席者からとくに異論は出なかったなので、この形で進めることとする。)

この制作に初年度費用約35万円をみているが、次年度からはインターネット委員会協力のもと内部での更新が可能となるので、ほとんど費用は発生しない見込み。

デジタル会員名簿になれば、印刷本形式でお願いしていた協賛広告はなくなるので、広報誌への協賛広告へのご協力をあらためてお願いしたい。

### 3. 役員改選に伴う法務局への登記について

7/20に法務局への登記を完了した。

### 4. 内閣府への報告について

令和元年度の事業活動・収支報告は7/27に申請を完了。また、役員変更届けは8/28に申請を済ませた。

### 5. テレワーク助成金について

5月の理事会で東京都しごと財団への申請を報告したテレワーク助成金は、8月19日付けの支給決定通知書により、満額回答(542,000円)となった。機器類についてはす

でに発注が終わり、2020/12/31までに申請した事業内容を完了し、2021/2/1までに実績報告を行う予定。

6. ジャパン・ハウス サンパウロでの日本パッケージデザイン大賞展開催について  
外務省から当該施設の企画・運営を委託された(株)電通及び制作会社(株)電通ライブ社から、サンパウロにあるジャパン・ハウスにおける「日本パッケージデザイン大賞展」開催について協力をいただきたいとの要請があり、現在コンペティション委員会・出版委員会を中心に具体的な検討が進行中。(開催予定日：2021/1/11～3/14)

#### 7. その他

- ① グーグルカレンダーの活用について  
各委員会の担当理事に対し、協会内のイベント日程の共有化を図るため、グーグルカレンダーの積極的な活用をお願いしたい。
- ② 9月の事務局勤務体制について  
新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、事務局員を8/11～8/28の間在宅勤務、8/31から通常勤務としたが、まだ感染拡大は収束していないことから、9/7(月)より、月曜は全員が、火曜～金曜は通常勤務と在宅勤務が半々の勤務体制とした。
- ③ 『食品包装』の広報記事の紹介(2件)

#### 第9号議案 次回理事会開催の件

伊藤理事長より、次回の理事会開催について以下の案内があった。

日時：令和2年11月11日(水)午後1時30分～5時

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5F 会議室A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

※当日は会議室を確保しているが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、再びオンラインでの開催になる可能性もあるとの補足があった。

以 上